



令和元年度

# 中央卸売市場事業会計決算の概要

令和2年（2020年）11月

札幌市中央卸売市場

# 1 公営企業会計の特色

○公営企業会計の収支は収益的収支と資本的収支の2種類に区別されます。

## 【収益的収支】

- ・市場を運営するための日常的な活動による収支
- ・1年間の経営成績を表す

## 【資本的収支】

- ・施設の建設・改築及び設備更新にかかる収支
- ・収入と支出の効果が翌年度以降に及ぶ

## 2 収益的収支 ・ ・ ・ 経営の収支

(単位：千円)

区 分	R1年度決算 ①	R1年度予算 ②	差引①－②
収益的収入 (A)	2,199,527	2,213,000	△13,473
営業収益	1,537,198	1,590,000	△52,802
営業外収益	662,329	623,000	39,329
収益的支出 (B)	2,284,197	2,404,000	△119,803
営業費用	2,077,478	2,165,000	△87,522
営業外費用	206,719	234,000	△27,281
予備費	0	5,000	△5,000
差引 (A)－(B)	△84,670	△191,000	106,330

### 【収益的収支】

収支は8,467万円の赤字となったが予算と比較し、1億633万円の好転。

### ○収益的収入

取扱額の減少に伴う売上高割使用料※の減少や空室が出たことによる施設使用料の減少により、1,347万円の減収。

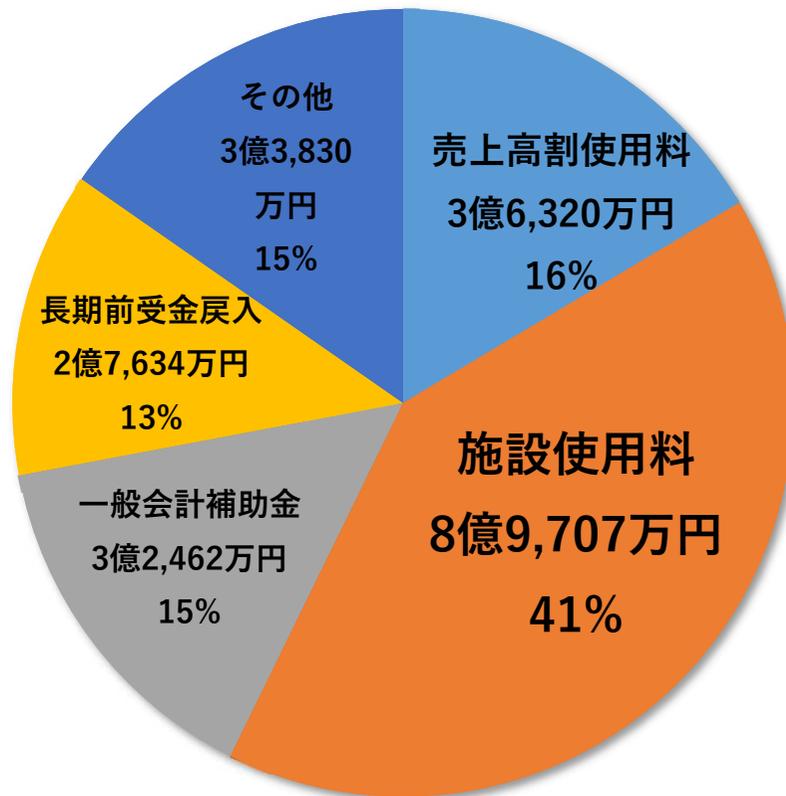
### ○収益的支出

産業廃棄物搬出量の減少による委託料の減少や使用量の減少による光熱水費の減少などにより、1億1,980万円の不用額が発生。

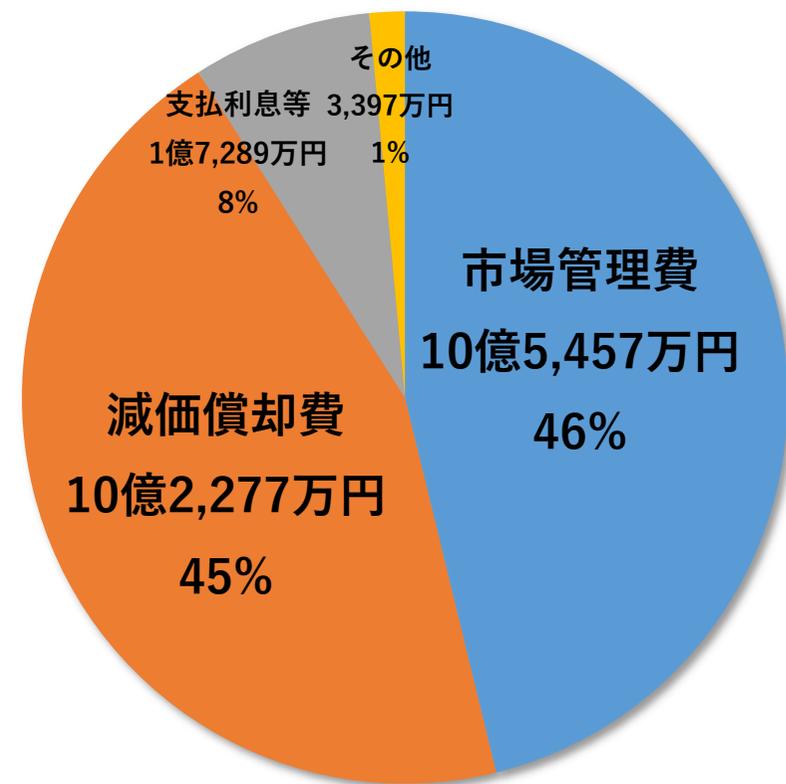
※卸売業者や仲卸業者が取扱額に応じて支払う使用料

## 2 収益的収支 ・ ・ ・ 経営の収支

収益的収入（21億9,953万円）



収益的支出（22億8,420万円）



### 3 資本的収支 ・ ・ ・ 建設改良費とその財源

(単位：千円)

区 分	R1年度決算 ①	R1年度予算 ②	差引①-②
資本的収入 (C) ※1	1,038,293	1,103,721	△65,428
資本的支出 (D) ※2	1,744,341	1,841,200	△96,859
差引 (C)-(D)	△706,048	△737,479	31,431

※1 企業債（建設改良費等に充てる借入金）の借入や  
出資金（一般会計からの繰入金）など

※2 建設改良費や企業債の償還金など

#### 【資本的収支】

収支は7億605万円の赤字となったが予算と比較し、3,143万円の好転。

#### ○資本的収入

建設改良費等の減少により企業債の借入額6,543万円の減少。

#### ○資本的支出

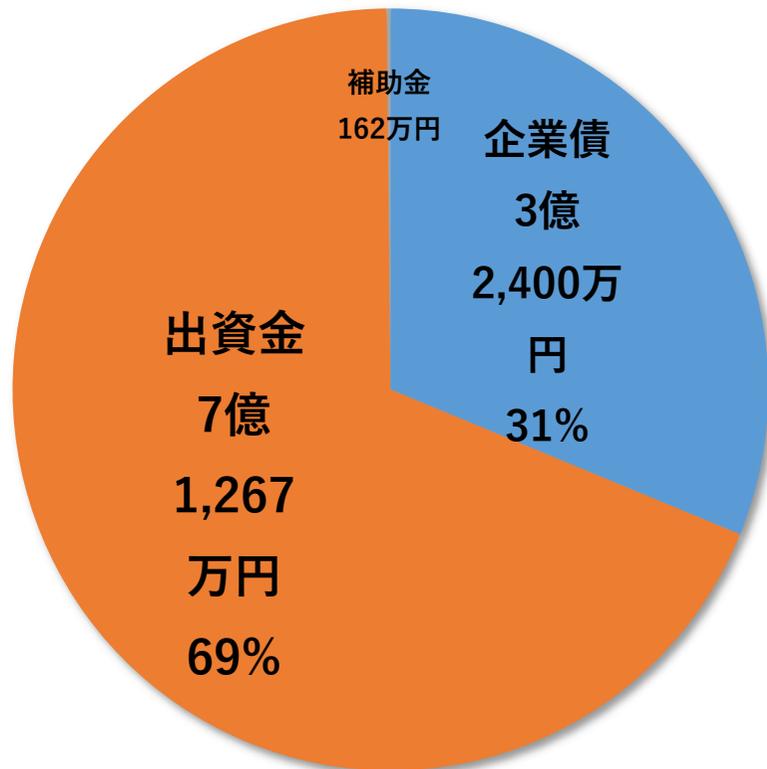
契約差金等による建設改良費の減少により9,686万円の不用額が発生。

#### ○建設改良費の内容

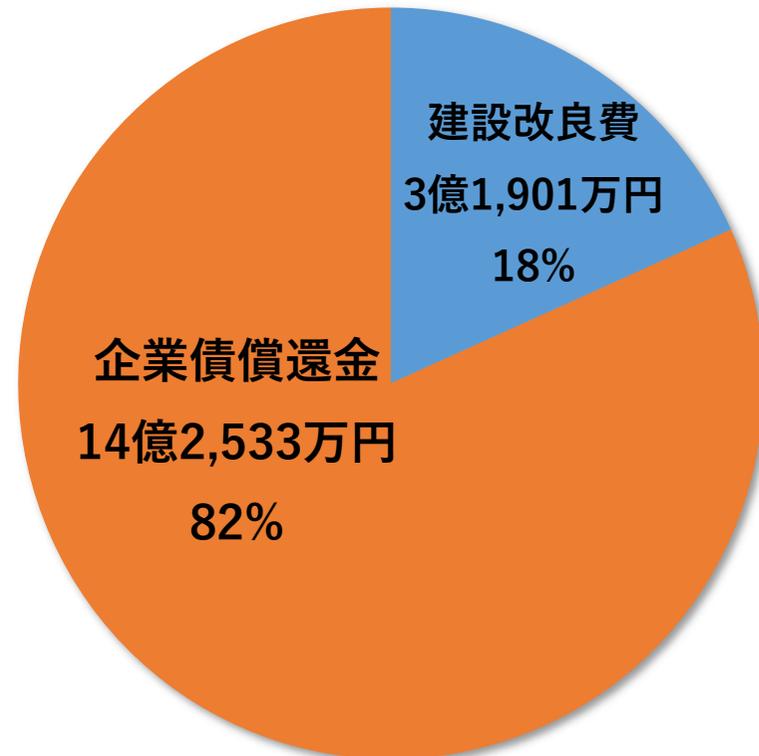
- ・ ガスヒートポンプ室外機更新
- ・ 資源リサイクル施設排ガスダクト取替等業務
- ・ 検定電力メーター更新
- ・ 水産保冷配送センター外壁改修工事
- ・ 水産棟屋上防水更新
- ・ 特別高圧受変電設備保護継続電器ほか更新 他

### 3 資本的収支 ・ ・ ・ 建設改良費とその財源

資本的収入（10億3,829万円）



資本的支出（17億4,434万円）



## 4 資金の状況

(単位：千円)

区 分	R1年度決算①	R1年度予算②	差引①－②
収益的収支	△84,670	△191,000	106,330
資本的収支	△706,048	△737,479	31,431
当年度損益勘定留保資金等 ※1	730,947	720,796	10,151
<b>当年度収支差引 (E)</b>	<b>△59,771</b>	<b>△207,683</b>	<b>147,912</b>
過年度分内部留保資金 (F) ※2	1,042,327	962,042	80,285
<b>差引 (E)+(F)</b>	<b>982,556</b>	<b>754,359</b>	<b>228,197</b>

※1 減価償却費や賞与引当金といった現金の支出を必要としない費用で、企業内部に留保される資金

※2 過年度から繰り越された資金

### 【資金残】

資金は5,977万円減少し9億8,256万円となったが、予算と比較し2億2,820万円の好転。

# 5 業務量

(単位 量：トン、額：千円)

区分	R1年度決算 (A)	R1年度予算 (B)	予算対比		
			増減 (A)-(B)=(C)	増減率(%) (C)÷(B)	
取 扱 量	水産物	76,606	81,949	△5,343	△6.5
	青果物	243,604	267,279	△23,675	△8.9
	計	<b>320,210</b>	<b>349,228</b>	<b>△29,018</b>	<b>△8.3</b>
取 扱 額	水産物	89,323,564	100,726,000	△11,402,436	△11.3
	青果物	54,648,687	62,574,000	△7,925,313	△12.7
	計	<b>143,972,251</b>	<b>163,300,000</b>	<b>△19,327,749</b>	<b>△11.8</b>
売 上 高 割 使 用 料	水産物	225,465	254,240	△28,775	△11.3
	青果物	137,739	157,748	△20,009	△12.7
	計	<b>363,204</b>	<b>411,988</b>	<b>△48,784</b>	<b>△11.8</b>

## 【取扱量】

### ○水産物

「さんま」の記録的な不漁等により予算と比較し、6.5%減少。

### ○青果物

天候不順により「たまねぎ」「はくさい」「ばれいしょ」等の入荷量が減少し、8.9%減少。

## 【取扱額】

### ○水産物

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高級水産物の単価下落等の影響により、11.3%減少。

### ○青果物

取扱量の減少に加え、平均単価の下落により、12.7%減少。

## 6 令和元年度予算との比較

### 【収益的収支】

収入では、水産物の不漁や青果物の天候不順による取扱額の減少により売上高割使用料が減少、支出では、産業廃棄物搬出業務等の委託料や光熱水費などの市場管理費が減少し、収支は1億633万円好転しました。

### 【資本的収支】

収入では、建設改良費の減少による企業債の借入額が減少、支出では、契約差金等により建設改良費に不用額が発生し、収支は3,143万円好転しました。

### 【資金残】

収益的収支、資本的収支の好転により資金残は2億2,820万円好転しました。

### 【まとめ】

令和元年度決算は予算と比較し好転しましたが、収支の赤字が続いており、経年劣化が進む市場施設に対し修繕費の増加も見込まれることから、持続可能な市場運営を目指して、今後も収入の増加と支出の削減を図るための施策に取り組みます。